

平成29年度 小城市立三里小学校 学校評価計画

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
ふれあい チャレンジ きらりかがやく 三里の子の育成	(1) 確かな学力の定着と指導力の向上 (2) 人間性豊かな心の育成 (3) たくましい体の育成

3 目標・評価

① 確かな学力の定着と指導力の向上

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	基本的な学習習慣・態度の定着	・学年相応の基本的な学習習慣を身につけることで学力の向上に必要な基礎を築く。	・児童の学習習慣の意識化のために、「家庭学習十ヶ条」「自習学習のポイント」を各家庭に配布し、学級便りや懇談会等で保護者への啓発を図る。
		確かな授業力の向上、専門性を高める研修	・確かな学力を身に付けさせるために「分かる授業」づくりを行う。	・校内研究、年5回の研究授業、スキルタイム公開などを行い、学習過程や取組の共通化を確認し、実践する。 ・授業後の研究会だけでなく、指導案作成や事前指導から各グループで検討を重ね、わかる授業展開を見いだす。 ・理解したことの定着を図るための時間を学習時間内に確保し、まとめの時間を充実させる。
	◎教育の質の向上に向けたICT利活用教育の推進	ICTを積極的に活用した授業の実施	・電子黒板やタブレットPCなどICTの有効性を検討し、児童の関心意欲と思考力を高める。	・各教科において、電子黒板やタブレットPCの有効な活用方法を研究し、授業で用いる。 ・ICTを利用した学習の推進や機器の操作などに関する職員研修を行う。

② 人間性豊かな心の育成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	読書活動の推進	・読書習慣の定着と読書好きな児童を目指し、全児童の100冊読破を目指す。 ・様々なジャンルの本を読む。	・3月末までに全児童の100冊読破を目指す。 ・貸出時における個人貸出冊数の意識付けを行う。 ・各学級で週に一度は図書館に行く機会をつくり、読書を促す。 ・「としょかんだより」で学年別貸出数を公表する。 ・国語科や学級活動など学習に関する本を1つのコーナーにまとめ児童の関心を高める。
		礼儀・あいさつ	・明るい挨拶、元気な返事、正しい言葉づかいができる児童を育成する。	・今年度の生活目標に掲げ、「明るい挨拶、元気な返事、正しい言葉づかい」「いつでも(朝だけでなく)、どこでも(校舎内での会釈も)、だれにでも(地域でお世話になっている方にも)」の言葉を加え、家庭教育指針強化週間を設定し、呼びかけていく。
	●いじめ問題への対応	いじめゼロ	・子どもの心の状態を常に把握し、いじめの早期発見、早期解決に努める。	・QUテストを、学校全体で学級づくりに活かすことができるよう、講師招聘の職員研修会を実施する。 ・三里小いじめゼロ宣言を児童に示し、「いじめに対する危機意識」を高める。

③ たくましい体の育成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	児童の健康的な生活習慣の確立	・基本的な生活習慣を身につけさせる。	・基本的な生活習慣を身につけて健康的な生活を送ることの大切さを、保護者や児童に発信するため、「ほけんだより」や掲示板を活用する。
		たくましい体づくりの推進	・継続的な体力づくりを推進し、やり遂げる児童を90%以上にする。 ・体育的活動の充実により、運動や外遊びが好きな児童を育成する。 ・給食を残さず食べる。	・毎日の朝ランニングへの参加を奨励する。 ・運営委員会主導のもと、長縄集会やスポーツチャレンジ週間を計画し、全員が運動に親しむ機会を増やす。 ・給食を残さず食べる態度を育てるため、栄養教諭を招いて食について学ぶ機会を設定する。(学級指導、なかよしタイム等)
	○体験活動の推進	体験活動を通じた実践力の育成	・総合的な時間や三里ふれあい自然塾等での体験活動の実践と見直しを行い、活動の充実を図る。	・自然体験、農業体験、ボランティア体験の目的を児童に理解させ、主体的・計画的に取り組む。 ・振り返りカードを作成し、次年度の縦割り班活動、三里ふれあい自然塾などの活動に活用する。 ・地域の方や、ボランティアスタッフの方に対して感謝の気持ちを持って、あいさつや礼儀を示すことができるように指導を徹底する。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○学校経営方針	学校教育目標及び経営方針、重点的な取り組みの周知	・学校目標や重点取り組みを周知徹底し、その達成率90%以上をめざす。	・学校教育目標の意味や目指すところについて、学校説明会等で具体的に説明したり、学校便りで毎月その達成状況について触れることで周知を徹底する。 ・児童の伸びや成長について、校区民に対して学校だよりで積極的に知らせしていく。
	○教職員の資質向上	教職員の資質向上 服務規律の保持	・教職員として自分の課題を見つけて、積極的に研修会等に参加し、資質向上を図る。	・全員が教育センター研修講座等に1回以上参加する。 ・長期休業を中心に、各種講座・講演会や研究発表会の案内を回覧し、積極的な参加を呼び掛ける。
	○開かれた学校づくり	保護者や地域に信頼される学校づくり 保護者・地域との連携 地域の生活文化の拠点となる学校づくり	・地域行事へ積極的に参加し、地域と学校の繋がりを太くする。 ・学校の情報をいろいろな方法で積極的に発信する。 ・「学校は保護者や地域と連携・協力して教育活動に取り組んでいる」と思う保護者を90%以上にする。	・学校便りを月2回以上発行すると共に、児童の活動の様子について随時HPに掲載する。 ・地域活性化のために学校の教育力を最大限に活かしていく。 ・学校教育の成果を授業参観、運動会や三里フェスタ等の行事で発揮していく。 ・学校を地域の生活文化の拠点とするため、学校行事や育友会行事等について、機会をとらえて積極的にまた早めに学校から情報発信する。 ・行事毎のアンケートや様々な機会を利用して、保護者や地域の声を聞き改善を図りながら、小規模校ならではの、地域に根差した「特色ある学校づくり」に取り組んでいく。

●は共通評価項目のうち必須項目、◎は共通評価項目のうち特定課題、○は独自評価項目